

# JAしまねひより

2025

1

January  
Vol.106

SNSで旬な情報を投稿しています



10<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY  
おかげさまで統合10年

特集



2025年も  
実を結ぶ1年になりますように！



みーつけた  
しまねのファーマーズ  
Shimane farmers

高見 謙一さん  
[やすぎ地区本部]

謹賀新年

# 初春のお慶びを申し上げます

役員一同



代表理事組合長  
石川 寿 樹

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には平素よりJAしまねの各事業に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和6年を振り返ってみますと、新年早々に発生した能登半島地震においては、多くの方々が被災され、地域の農業や生活基盤に大きな影響を及ぼしました。

また、依然として先行き不透明なウクライナ情勢やパレスチナにおける国際紛争に加え、物価高や円安の影響により、農業や地域社会を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。特に燃油や飼料・肥料などの生産資材価格は高止まりを続け、農業経営は非常に厳しい状況にあります。

そのようななか、食料安全保障の確保を基本理念に、食料・農業・農村基本法が25年ぶりに改正されました。この改正を機に、我々の農業が新たなステージへと進化し、地域社会に貢献できるようJAしまねとしましても積極的に取り組んで参ります。

続いて、農業面で大きな話題となったのが「令和の米騒動」です。昨年の7月頃からスーパー等で米の品薄状態や価格高騰が発生しました。

このように、米の価格が急騰するなか、JAしまねでは米農家の再生産価格である60kgあたり15,800円を上回る16,800円の概算金をいち早く決定いたしました。

さらに、米の販売が好調に推移したことから、12月には60kgあたり1,200円の追加金を決定いたしました。

今回の米騒動で、適正価格での安定供給が消費者・生産者の双方にとって、いかに重要であるか改めて明らかになりました。そのため、今後の政策を見直すに当たっては、国がしっかりと関与する仕組みを構築する必要があります。

また、今ひとつ大きな話題となったのが、農林中央金庫の問題であり、海外金利の急上昇の影響を受けて配当ができなくなったことです。その結果、JAしまねにおいても、例年受け取っていた出資配当金約7億円を受け取ることができなくなりました。現在立案中の次期中期経営計画においても、令和7年度以降当分の間は配当を受け取れないと想定して運営せざるを得ず、もう一段の事業改革が不可避だと考えております。

昨年末には、自動車大手のホンダと日産自動車が発行統合に向け協議を始めたことや、三大紡績の一つに数えられたユニチカが構造改革の一環として繊維事業から撤退するといった報道がされております。JAしまねも一体となり、時代の変化に対応すべく引き続き改革にチャレンジする必要があります。

具体的には、組合員の意思反映と地域農業の振興、地域行政対応を担う地区本部を存置しながら、一方で、新たな飛躍に向けて「事業本部制」を基軸とした新たな運営体制を検討して参ります。

その他、新人事制度の導入、自動車燃料事業の「県域会社化プロジェクト」についても引き続き取り組んで参ります。

結びとなりますが、組合員の皆様にとりまして、本年が実り多く健康で明るい年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



## 新年のごあいさつ

鳥根県農協青年組織協議会  
会長 古川 敬



新年あけましておめでとうございます。

日頃より鳥根県農協青年組織協議会（以下、県青協）ならびに鳥根県内盟友の活動において、ご理解とご支援・ご協力頂いていることに対し厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、石川県能登地方を震源とする地震をはじめ、全国各地で地震や豪雨による被害が発生し、心痛めることが多くありました。農業現場においては生産資材や飼料、燃料の高騰や物流問題も続く中、農業経営は大変厳しいものとなっています。様々な品目にカメムシなどによる害虫被害が多く発生し、収量や品質に多大な影響を受けました。養鶏業では鳥インフルエンザの発生もありました。畜産酪農業では農畜産物の需給ギャップが続いています。農業や食品産業の経営が圧迫されている中、25年ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、これからの農業という産業が持続可能なものとなるよう基本計画の議論が進められています。しかし、検討課題は多く残っており、農業者だけでなく地域の皆様の御理解と御協力が無ければ前に進みません。生産と消費が継続していけるよう、魅力ある農業になることと、農業に関わる人が増えることを期待しています。

県青協では、各地区組織との連携を取りながら「鳥根県JA青年大会の開催」「全国大会や中国・四国JA青年大会～研修視察への参加」「鳥根県農林水産部・JAしまね・隠岐どうぜん若手畜産農家・鳥根県商工会青年部連合会との意見交換会の開催」「国会議員への要請」などの活動を行って参りました。

本年県青協は70周年を迎えます。諸先輩方の築き上げてきた農業青年の絆を盛り上げていき、これから先10年20年と繋いでいけるよう県青協一丸となって取り組んで参ります。

最後になりますが、盟友の皆様と関係各位の皆様のさらなるご発展とご健勝を祈念申し上げると共に、実り多き年であることをご祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

JAしまね女性部  
部長 高橋 美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動に対しご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、JAしまね女性部3カ年計画の「つながろう🍀」「まもろう🍀」「かかわろう🍀」の3つの具体的活動を掲げ、JAをよりどころに農業はもちろん、地域社会全体の発展に寄与するため部員同士で小さな力を結集させて活動に取り組んでまいりました。

その一つとして、女性部員ら一人一人が玄米を持ち寄り、子ども食堂やフードバンクに寄贈する“米一握り運動”に引き続き取り組みました。今年度は米不足が叫ばれる中、JAしまねや鳥根県農協青年組織協議会にもご協力いただきながら2回に分けて米を集め、3月に寄贈する予定です。この運動にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

また、JAしまねとともに始めた「おもてなしプロジェクト」は今年度で6年目。女性部員から「自分たちのJAを自分たちで守る」という意識を共有し、JA支店の美化活動やみどりのカーテンなどに取り組みました。

最後になりましたが、今年も皆さまが笑顔で過ごせるよう、地域や生活に密着したJA女性部ならではの活動を目指してまいります。今年も私たち女性部に変わらぬご指導、ご協力をお願いすると共に皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

みーつけた

# Shimane Farmers しまねのファーマーズ

たかみ けんいち  
**高見 謙一さん(56歳)**

今月はやすぎ地区本部。安来市下坂田町でイチゴ栽培に取り組んでいる高見謙一さんにお話を伺いました。



## イチゴ作りをつなぐためにUターン

安来市ではイチゴ作りが盛んで、「章姫（あきひめ）」「紅ほっぺ」などの品種が栽培されています。摘花によって一つの株にできる実を減らし、粒を大きく育てるのが安来のイチゴ栽培の特徴。また真っ赤に完熟してから

収穫するため、甘みが濃くジューシーで食べ応えがあります。

完熟してから収穫したイチゴは日持ちがしないため、販路は島根・鳥取が中心に。安来のイチゴは山陰だから気軽に食べられる、特別な旬の幸だと言えるかもしれません。

高見さんは同市下坂田町で年間約14トンを生産するイチゴ農家。高見



真っ赤に実った高見さんのイチゴ



高見さんのイチゴハウス

さんがお父さんから農園を継承したのは2014年のこと。それ以前は静岡で会社員として働いていました。「うちのイチゴは甘くておいしいと評判だったので、父の代で終わらせたらもったいないと思ったんです」と高見さんは話します。当時、高校生だった高見さんの息子さんがイチゴ栽培に興味を持っていったことも後押しになり、Uターン就農を決めました。

## 新しい農法や技術を試し農薬を減らす

高見さんが手がける品種は「章姫」「紅ほっぺ」「よつぼし」。農園を継承したときの作付け面積は15アールほどでしたが、現在は1・8倍の27アールに。お父さんや就農した息子さんとともに家族3世代で栽培に取り組んでいます。



イチゴの花

イチゴの収穫・出荷は11月下旬から翌年5月までと長期にわたります。「4〜5月は特に収穫量が多い時期ですが、ハウスの中が暑くてなかなかつらいんですよ」と高見さん。最盛期を終えるとすぐに育苗がスタート。9月に定植すると10月には花が咲き始めます。摘花をしつつハウス内にミツバチを放って受粉を促進。気温が下がるとミツバチが活動しにくくなるため、冬は無菌状態で衛生的に育てられた「無菌バエ」を使います。

害虫対策にも虫の力を活用。イチゴに付くハダニを食べるダニや、アブラムシの天敵の虫を使うなど

して、病害虫予防の薬剤使用を減らしています。高見さんは「UVランプも設置し、うどん粉病など病気への抵抗力を高めています。父の時代よりも農薬の量はかなり減っていると思いますよ」と話しました。

## ICT化で生育を管理・コントロール

技術の進化は他の面でも。日照量や気温、湿度、土の水分量や肥料濃度などをセンサーで測定し、スマホのアプリで確認。随時調整できるようにしています。イチゴの開花から収穫までの積算温度は600℃であるため、気温を把握することで収穫の時期がより細かく分かるように。イチゴは実をつけながら次々と花をつけるため、ハウス内の温度調整をしながら何度かやってくる収穫のピークをコントロールしていきます。

「便利な時代になりましたが、天気に左右されることは昔と変わりません」と高見さんは苦笑します。昨年(2024年)は8〜9月の気温がとて高かったため、西日本ではイチゴの実りが1週間程度遅れており、洋菓子店などのクリスマス需要に配慮されるか懸念されていました。例年は11月中〜下



その場になくても土の水分量や肥料濃度などをスマホアプリで確認することができます



作業する高見さん

旬に第一陣の収穫があり、大粒のイチゴを出荷。12月上旬〜中旬の第二陣の出荷を経て、クリスマスごろにはケーキにちょうどいい小ぶりなイチゴができるそう。色づきが日照に左右されることもあり、天に祈る日々が続きます。

## 安来のイチゴを未来につなぐために

米のように広大な土地は必要なく、またブドウや梨などの果樹と異なり定植した年に収穫できるイチゴ。収穫期間が長くその分収入のある時期が続くこともあり、安来ではイチゴ栽培に挑戦する若い世代が増えています。ふるさとのブランドとして大々的に打ち出され、規格外の実を活用したスイーツや加工品の開発も盛ん。高見さんも「より多くの人に知ってもらい、食べていただきたい」と話します。未来に向けてイチゴ栽培を持続可能なものにしていくため、気候変動に対応した高温に耐えられる品種を探したり、育苗のやり方も考えたりしていくと言います。高見さんの新しい取り組みは、息子さんたち次世代へつなぐバトンとなるでしょう。今後も挑戦が続きます。



今後について語る高見さん

プチっと情報!

### やすぎのいちご

県内最大のイチゴ産地である安来市で生産される「やすぎのいちご」は、ギリギリまで熟すのを待ち収穫することと大きな粒で甘みが強いのが特徴🍓高見さんは規格外のイチゴを冷凍して保存。牛乳・シロップとともにミキサーにかけるとリッチな味わいのミルクスムージーになるそう。傷みかけたイチゴの保存&アレンジとしてもオススメです😊🌟



# 1年になりますように!

新年あけましておめでとうございます。

2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」🐍。これまでの努力や苦勞、準備が実を結び始める年と言われています。そんな新年第1号の特集では、さまざまな想いを胸に農業に取り組む皆さんに、将来の目標や頑張っていることなどを伺いました😊✨

仁多郡奥出雲町  
雲南地区本部



和泉 宏幸さん(37)

繁殖から肥育までの一貫経営で父と協力し、130頭を飼育しています。耕作放棄地を有効活用し、放牧をするなど豊かな自然の中で、ストレスを極力与えない環境づくりに取り組んでいます。今後は増頭を目標に、厳しい情勢が続く畜産業界を少しでも盛り上げていきたいです。



隠岐郡隠岐の島町  
隠岐地区本部



勝部 聡史さん(30)

大学卒業後、地元へUターンし農業を行っている勝部表装へ就職。最近では地元の新しいブランドになるよう、菜種油のラベルデザインを出雲市の精油会社と静岡県の大学と共同開発しています。また、地元の豆腐店と契約し大豆の栽培も始めました。後継者として新しいことに挑戦していきます。



出雲市斐川町  
斐川地区本部

錦織 誠全さん(22)

県立農林大学校を卒業後、2年間の研修を経て、昨年4月から就農し、6棟のハウスで大玉トマトとキュウリを生産しています。段取りがうまくいかず苦勞しましたが、思ったより生産量が多く、手応えを感じています。部会の先輩方を見習い、安定して経営できるよう頑張ります。



大田市長久町  
石見銀山地区本部

越智 裕之さん(51)

大田市での産業体験を経て、県立農林大学校で1年間受講後、昨年1ターン移住し就農。認定新規就農者としてアスパラガスを生産しています。リースハウス10棟にアスパラガスの苗を植え、今年3月から生産・出荷を開始します。農業経営を軌道に乗せる勝負の年。近い将来、反収4トンを目指し頑張ります。



益田市美都町  
西いわみ地区本部

青木 昌碩さん(28)

県立農林大学校を卒業後、地元での研修を経て、ハウス14棟を基盤に就農。小松菜やホウレンソウなど葉物を中心に輪作し、現在はニラや畑ワサビ、ミニトマトも生産しています。ハウスを有効活用し、葉物以外の安定した収入確保が可能な作物にも取り組んでいます。



# 2025年も実を結ぶ

松江市上本庄町  
くにびき地区本部

三代由希子さん(32)

趣味として祖母の畑で野菜作りを始め、2023年から本格的に就農。西条柿やタマネギ、ブロッコリーなどを主に栽培しています。今後は防除をもっと学び、収量を増やし、より高品質なものを作りたいです。また、スタッフの増員にあたり、農福連携にも取り組んでいきたいです。



安来市東赤江町  
やすぎ地区本部



小崎 一貴さん(45)

安来市に1ターンし、2年間の研修を経て2023年9月に就農。スマート農業で「省力・省エネ化」と「美味しいイチゴ栽培」の両立に取り組んでいます。地域の皆さんに支えていただきながら自己研鑽を積み、日々成長し続けていきたいです。



隠岐郡西ノ島町  
隠岐どうぜん地区本部

灘 貴章さん(49)

父が手間ひまをかけて培ってきた和牛の血統を途絶えさせたくないという強い思いから、和牛繁殖経営を受け継ぎました。地元で約1000年と連綿とつながる「牧文化」を最大限に活用した放牧を主体とする繁殖経営を一步でも二歩でも前進させ、「儲かる畜産」に挑戦していきます。



出雲市伊野町  
出雲地区本部

正木 原野さん(30)

水稻を約40ヘクタールで栽培しています。今年はさらに約4ヘクタール面積を拡大させる他、ドローンでの直播も試験的に行う予定です。慣行栽培を大切にしながら新しい方法なども取り入れ、良食味・高品質を保ちつつ収量を上げていけるよう頑張ります。



邑智郡邑南町  
島根おおち地区本部

新田 良次さん(26)

県外の大学を卒業後、地元へUターンし、実家の農業を継いで有機米「つや姫」を中心に約7ヘクタール栽培しています。先人の知識も大切に、新しい技術も取り入れながら安定経営を目指し、同じ志を持つ仲間を増やすため取り組んでいきます。



江津市二宮町  
いわみ中央地区本部

GOGOファーム

2023年にUターンし、菌床シイタケや菌床キクラゲの栽培を行っています。産直をはじめ地元を中心に販売を行っており、これからもさらに販路を拡大し、地元を盛り上げていけるように頑張っていきます。



J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、J A自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を  
もっと聞きたい

# 組合長が行く!

巡回の様子を収めた  
動画はコチラから

今回の  
訪問先

- J Aしまねいわみ中央地区本部管内
- 有限会社やさか共同農場
- 農事組合法人ひやころう波佐



**今**回は、有限会社やさか共同農場、農事組合法人ひやころう波佐を石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の“生の声”を伺いました。

**有**限会社やさか共同農場は、およそ50年前に6人の若者が共同体の建設という夢を持ち、浜田市弥栄町に移住してきたのが始まり。現在は有機の米や野菜、加工用トマトなどを生産する他、「やさかみそ」やトマトジュース、甘酒などを製造しています。同社の佐藤大輔社長と竹岡篤志取締役とは、同社の成り立ちや県内でいち早く始めた海外技能実習生の受け入れ、定住移住の取り組み、加工事業などについて意見交換しました。佐藤社長は「弥栄町の中心地にあるJ Aが受託運営している加工施設が使われなくなるのもつたいないという思いがある。私たちと一緒に運営していくことができないうだろうか」と要望しました。

**農**事組合法人ひやころう波佐は、浜田市金城町波佐地区で水稲や大豆、タマネギの他、味噌を始めとする加工品を生産。設立当初



(有)やさか共同農場の事務所前でスタッフの皆さんと石川組合長ら



(有)やさか共同農場のハウスを見学しながら意見を交わす石川組合長ら

から構成集落の全戸参加が特徴で、法人名にある「ひやころう(※)」のとおり、組合員が誘い合いながら農作業やイベントを行っている。同法人の岡本利道組合長とは、力を入れている都市交流や消費者交流の大切さ、今年の米価などについて活発に意見を交わしました。岡本組合長は『生産資材が高騰していて農業者も大変なんだね』『まっとうな価格で米を食べるぞ』と言ってもらえる消費者を増やしていかないとけない。組合員と共に消費者理解に向けた運動に取り組んでいただきたい』と要望しました。

**ま**た、今年度から当J Aと業務提携を始めたジュンテンドーの「江津店」「浜田店」を視察しました。

※地域の方言で「呼びかけよう誘い合おう」という意味



提携第1号店「ジュンテンドー江津店」のJ Aマーク品(肥料)コーナー



大豆を生産するほ場の前で岡本組合長(右から3番目)らと石川組合長ら



(農)ひやころう波佐の事務所で岡本組合長(右)と意見交換を行いました

## 組合長から一言



今回はいわみ中央地区本部管内を訪問し、最初に当J Aと業務提携を開始したジュンテンドーの江津店と浜田店を視察した。両店舗とも、販売金額、取扱件数とも順調に伸びており、組合員の評価も上々とのことであった。

次に訪問したのが、有限会社やさか共同農場。社長の佐藤大輔さんによると、同農場はおよそ50年前より共同体の建設という夢に向かって取り組みが始まり、現在、農産部門(水稲1.3ha、露地野菜2.3ha、ハウス80a、大豆10ha)、加工部門(味噌や惣菜製造)、交流・研修部門(新規就農者の受け入れや消費者交流)の3部門で、役員6名、海外からの研修生4人を含む36名のメンバーで、有機農業を中心に農業に取り組んでいるとのことであった。

最後に訪問したのは農事組合法人ひやころう波佐。「ひやころう」とは「呼びかけよう誘い合おう」を意味する方言。組合長の岡本利道さんによると、典型的な集落営農法人で、平成19年に法人化。現在5集落、63戸が全戸参加。経営内容は水稲10.2ha、大豆4.1ha、ソバ1.6ha、タマネギ0.2ha。この他、餅や味噌などの加工事業や広島市内の公民館との交流事業にも力を入れているとのことであった。

組合長より一言  
弥栄の地に  
夢を追いかけ  
秋高し







topics  
1

## 令和6年度農林水産祭むらづくり部門「天皇杯」受賞 安来市・えーひだカンパニー株式会社



安来市広瀬町比田地区のえーひだカンパニー株式会社が令和6年度農林水産祭むらづくり部門で最高賞の天皇杯を受賞しました。同社は12月18日、松江市のJAビルを訪れ、JA島根中央会の田尻宏常務と当JAの日高光弘専務に受賞を報告しました。

同社は、人口減少や高齢化が進む中、活性化のため同地区の住民が話し合いを通して作成した地域ビジョン実現に向け設立。地域で作付けが難しくなった農地を引き受け営農に取り組む他、ドローンによる農薬散布などの作業受託や地元産米のブランド化、見守り活動を兼ねた買い物支援として移動販売車「ひだまり号」の運行など、地域の営農・生活面を支え、生活水準の向上に貢献しており、全国でのむらづくりのモデル事例になると評価されました。

同社の川上義則代表取締役は「天皇杯を受賞し大変光栄に思うと同時に大きな責任を感じている。地域づくりの会社として、稼いだものを地域貢献に充て、地域の人を幸せにしていけることをより一層目指していきたい」と力を込めました。



日高専務(右)と田尻常務(左)に受賞を報告した同社の川上代表取締役(左から3番目)と田邊裕子取締役(左から2番目)ら

topics  
2

## 島根県農協青年組織協議会が JAしまね役職員との意見交換会を開催



島根県農協青年組織協議会とJAしまねは12月18日、松江市のJAビルでJA役職員との意見交換会を開きました。同協議会や各地区本部の青年連盟、JA役職員ら34人が出席。2つのグループに分かれ、当JAへの意見要望や日頃の営農活動での思いなど活発に意見を交わしました。

意見交換会では「1日農業バイトサービスを一般の人、JA職員へ周知し農家が人手を確保できるような環境を整えてほしい」「県版農業生産工程管理(GAP)『美味しまね認証』の申請様式を簡素化できないか」「農畜産物の適正な価格形成に取り組むと同時に消費者の理解醸成もお願いしたい」など、さまざまな意見があがりました。

また、来年度以降の米価の動向を心配する声に対し、JAは「再生産可能な価格が維持できるように令和7年度産の作付けも注視しながら販売努力をしていきたい」と答えました。



日々の営農活動で感じていることや意見を伝える盟友

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。

### 理事会情報 (12月24日開催)

【協議事項】

- ①信用手数料の見直しについて
- ②信用事業方法書(為替取引)の一部改正について
- ③令和7年5月7日付 機構改革の実施について
- ④第4次中期経営計画(策定に向けた骨子)について
- ⑤(協議)債権償却について(報告)遅延損害金免除について
- ⑥個人情報保護法関連規程の改正について
- ⑦「従たる事務所」の変更登記について
- ⑧新人事制度の労使交渉の現状を踏まえた今後の進め方について
- ⑨島根県常例検査書(島根おち地区本部)の回答について

# 新年のご挨拶

J Aしまね西いわみ地区本部  
常務理事 本部長  
田村清己



新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

J Aしまね西いわみ地区本部の運営につきましては、平素より営農経済事業や信用共済事業など、全般にわたり格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は25年ぶりに食料・農業・農村基本法が改正されましたが、世界的な政権不安による不確実性の広がりや円安の進行、物価高騰による生産資材価格の高止まりや温暖化の進展による異常気象の常態化、病害虫の発生等で農畜産物の育成生産販売に苦勞する年となりました。国内では農村部を中心に過疎化・高齢化がすすみ担い手不足が深刻化しており、J Aにおいても職員の確保や育成を含めた組織基盤・経営基盤の対応強化を進めなければなりません。

昨年10月に開催された三年に一度の第30回J A全国大会では、J Aグループへの期待や果たすべき役割をふまえJ Aの存在意義を「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」として、J Aグループ内外への発信を通じ、認知・理解・共感を広げていくこととなりました。これまで自己改革で取り組んできた組合員との対話をさらにすすめ、「協

同活動と総合事業の好循環」を通じて、接点（つながり）づくり・組合員との関係強化・仲間づくりを進めていくことが必要となっております。

このような背景のもと業務体制では、皆様のご理解とご協力をいただき、基幹6支店の更なる業務拡充と益田中央支店を核とした市街地での来店いただける金融店舗づくりを進めました。事業所となった支店につきましても、「ふれあいプラザ」と位置づけ地域のつながり維持と地域のよりにとらざる店舗として、信頼と持続可能な強いJ Aづくり、農業・地域共生の未来づくりへ役職員一丸となって取り組んでまいりました。益田グリーンセンターが皆様のご利用を受け、J A全農主催の「J A資材店舗CS甲子園2024」の大型陳列部門で再度準優勝（過去4年のうち優勝2回、準優勝2回となりました。）を受賞することができました。

また、米価対策についても、買い取り価格と追加金でコシヒカリ二等60キロ当たり18,000円を出させていただきました。農家の再生産価格が60キロ全国平均で15,800円を考慮して決定いたしました。栽培こよみをはじめ、育成管理指導や施肥・病害虫等の営農指導・中干し講習・刈り取り講習等、細部にわたりご指導とご支援させていただいている点をご理解いただき集荷にご協

力をお願いいたします。

農林中央金庫の出資配当などが減少するなど経営環境が厳しさを迎えるなかで、統合後10年の節目に当たり地区本部制を含む運営体制について、将来的には事業本部制をみずえた「新たな運営体制のあり方」について、冬季座談会等の開催を通じて十分な話し合い等協議を進めて参ります。

また、西いわみ地区本部での喫緊の課題では、六日市カントリーエレベーターについて、集落営農法人や組合員利用者の利用拡大を進め、市町のご支援をいただきながら修復稼働に取り組みます。新営農センター構想については、営農センターおよびグリーンセンターの移転建設、物流三元化による効率化に向けた資材倉庫の建設、葬祭センター2号店および産直ショップの新規事業の取り組みを進めます。老朽化した各種選果場の更新について、New多目的選果・集荷場構想の具体化など国・県・市と連携し課題解決に取り組んでまいります。年頭に当たり乙巳（きのとみ）は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられており、組合員および皆さま方の「生き生き・わくわく」としたご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





## 「持続可能な農業の実現」などを訴えトラクター22台がパレード

吉賀町農政会議（斎藤一栄会長）は農業の厳しい現状を広く伝えようと12月18日、トラクター22台によるパレードを行いました。

J Aしまね六日市支店農産物集荷場を起点としたパレードは、生産資材価格の高止まりによって減少している農家所得の増大と、持続可能な農業の実現や農畜産物の消費拡大を訴え、町内約3キロを走行した後目的地である吉賀町役場本庁舎に到着しました。

出発を前にマイクを握った斎藤会長は、薄暗く冷たい雨が降るこの日の天候を今日の農政に例え、第一声を「こうした行動が島根県更に全国に波及し国政を動かす。とりわけ農政の基本は我々中山間地域が源。この行動を皆さんに呼びかけたところ、快く参加していただき感謝している」と挨拶しました。

この日はJ Aしまね西いわみ地区本部田村清己本部長、

西いわみ農政協議会 永田寿秋会長、

益田市農政会議 岩

本和雄会長、益田

市認定農業者連絡

協議会 寺戸豊太郎

会長も応援に駆け

つけ、一様に「生

産資材価格の高騰

など消費者にも理

解を求め、共に持

続可能な農業を目

指し、我々がつく

る豊かな農村を守

り続けよう」と語

りトラクターに乗

り込みました。



22台のトラクターは車列を成して町内へと出発して行きました。



途中保育園に差し掛ると、園児たちが野菜の絵を描いた手作りの小旗を振って出迎え、トラクターをバックに写真撮影していました。



斎藤会長が「中山間地域で農畜産業を営む農業者として国民の食を支えているという自負心がある。農地の多面的機能の回復・農畜産物価格への資材費等の転嫁など農業者に寄り添った農政の実現」等の内容を盛り込んだ要望書を読み上げ、岩本一己町長に手渡ししました。



## 津和野町左鏡産わさびが 「全国わさび品評会」で優秀賞受賞



J Aしまね西いわみ山葵協議会（宮川純平会長）は12月4日、日原支店ひまわり  
の会議室で、10月21・22日の2日間、福岡大同青果市場を会場に開催された「第39  
回全国わさび品評会」において、見事優秀賞（神果神戸青果株式会社賞）に輝いた  
安見真司さん（津和野町左鏡）の栄誉を称え、表彰状の授与式を行いました。

開式にあたり宮川会長は「この度、安見真司さんが第39回全国わさび品評会で『神  
果賞』優秀賞を受賞され大変嬉しく思う。自分たちわさび生産者の仲間が、大きな  
賞をとったということに感動した。これを励みに皆さんも良いわさびの生産に頑  
張ってほしい」と挨拶しました。

来賓を代表してJ Aしまね西いわみ地区本部の田村清己本部長（全国わさび生産  
者協議会副会長）は「安見真司さんの栄えある受賞は大変めでたく、30年来わさび  
産地として目指してきたところに手が届いた。今年も猛暑で雨量が少なく品質管理  
等ご苦労があったと思うが、こうした状況下での受賞は正に実力が認められたもの  
で大変嬉しく思っている。今わさびは輸出産業やインバウンド効果もあって市場に  
おいても高値取引が続いている。全ての農畜産物は良いものを作れば高収入につな  
がる。生産者とJ Aや市場・行政等関係機関が一体となって取り組むことが重要、  
今後ともに頑張っていきたい」と挨拶しました。

続いて田村本部長から表彰状並びに優秀賞カップが授与され、安見さんは受賞の  
喜びを次のように語りました。「品評会には過去10回以上出品しているが静岡県勢  
独走の状態が続いていた。大量の湧き水で作るきれいな色と形をした静岡産の「真  
妻」（わさび苗品種）には、『島根も対抗できないな』と思いながら毎年参加してい  
た。今回は「飛河」という品種の苗を植え、成長したわさびの形を揃えて丁寧な調  
整し出品した。組合による育苗から調整までの講習会等を重ね、それを実践できた  
と同時に、J A・津和野町など関係機関の指導や支援があったからだに感謝してい  
る。この結果が西いわみのわさび生産者の刺激となって、『島根県でも全国に誇れる  
わさびができるんだ』と栽培のモチベーションが上がリ、生産者全員のやる気につ  
ながればと思っている。これからも受賞できるような良いわさびを作っていきたい」。

長い歴史の中で自然災害等に負けず生産を続け、培ってきた栽培技術を後継者へ  
とつないだことで産地が生き続け、先人たちのこれまでの努力と今日の生産者の努  
力が一つとなって、共に報われた瞬間でもありました。



神果神戸青果株式会社賞の賞状  
とカップを手に感想を話す安見  
さん



宮川会長  
開式の挨拶



田村本部長  
来賓の挨拶



この品評会に全国8都県から、135点のわさび（根茎の部131  
点、丸掘の部4点）が出品され、各県試験研究機関・大学・市場関係  
者等13人の審査員によって、審査規定に基づく厳正な審査が行われま  
した。

安見さんが出品した根茎の部では、1次審査を経た後、続く2次審  
査で根茎内部の障害等の有無、形状、色沢、病虫害の有無などの外観  
審査が行われ、その結果、静岡県産13点、島根県（鹿足郡津和野町左  
鏡）産1点が上位に入賞し各賞が決定しました。

審査長を務めた福岡大同青果株式会社野菜第一部の桑山典也部長か  
らは、「根茎の部に出品されたものは、優れた外観のわさびが多く、  
目詰まりが良く、固く締まった根茎が多く見られた」との講評があり  
ました。



## 全国のわさび生産者の記憶に残った「鳥根県津和野町左鐙のわさび」

〜かつて「東の静岡、西の鳥根」と言われたことも〜

津和野町左鐙から県道189号線を、高津川の支流横道川に沿って7キロほど進んだ先に横道地区があります。

きれいな水が流れる谷川を更に上流へ上ること約4キロ、標高も500メートルに達する山間に安見さんの溪流わさびの圃場が広がります。



▲15年前安見さんが単独造成整備したわさび田。上流で二手に分かれ更にわさび田が続きます。安見さんの溪流圃場面積の合計は約30アールです。

◀梅雨時期には豪雨による上流からの土砂の流入を回避する対策や、山間とはいえ真夏の日差しは厳しく、わさび田上部に寒冷紗を設置し夏場の強い日差しから守るなど、良質な環境維持に余念はありません。



根茎わさびが出荷できるようになるまでにおよそ1年半程度かかります。



この日（12月9日）は前日に降った雪が残る寒い日、谷間から圃場へと流れ込む透明度の高い水は冷たい安蔵寺山の伏流水。



自宅近くではハウスわさび約10アール（ビニールハウス5棟）を栽培しています。



収穫作業の途中で掘り上げたわさびを見せてもらいました。この後きれいに仕上げる「出荷調整」が大変。奥さんの協力です。週に8キロ～10キロのわさびを出荷しています。



## 西いわみ農政協議会総会開催

西いわみ農政協議会（永田春秋会長）は12月7日、西いわみ地区本部の会議室において第20回通常総会を開催しました。

来賓として丸山達也県知事、島根県

農政会議石倉茂美会長を迎え、冒頭永田会長より「農業を取り巻く環境は依然厳しいが、今年は米価の買取り価格が上昇した。しかしながら他の作物については依然価格転嫁が出来ていない。生産現場は常にひっ迫しており、一刻も早い価格形成と消費者への理解促進が必要だ」とあいさつがあり議事に入りました。



総会終了後は丸山知

事による県政報告会を行い、「米のJA買取り価格は昨年と比べ1.5倍は2倍以上になっている。消費者からは農家の手取りが増えているといった誤解を抱くようなことは避けなければならぬ。米に限らず物価上昇率は上がり続けるなか、賃金の上昇率は追い付いていない。円安が続く限り日本は厳しい状況が続いていく。県から国へしっかりと訴えていく」と報告がありました。



## 令和6年産益田メロン出荷反省会

JAしまね西いわみ地区本部と益田メロン部会（大場尚俊部会長）は12月18日、益田市民学習センター会議室で令和6年産益田メロン出荷反省会を行いました。

開会にあたり西いわみ地区本部の田村清己本部長は「今年は天候不順でメロンの生産過程で苦労があったと思う。夏作アールスにおいては好成績でしつかりとした生産管理ができた結果で、やはり良いものを作ると良いものは高く評価される。今後関係機関と一緒に取組むと同時に、今日の反省会でしつかりと振り返って来年に向けてまた努力していきたい」と挨拶しました。

続いて夏作・秋作それぞれの反収において優秀な成績を収めた澁谷記幸さん（夏作）、松本貴之さん（秋作）に優績者表彰が授与されました。

大場部会長は挨拶で「今年もメロンの総販売高は4億円を超えることができました。先日大阪2市場、浜田、出雲大同、益田の市場と流通懇談会を行い、担当者から『益田のメロンは50年の歴史もあり、非常に良いものが出荷され安心して販売ができる』と大変高い評価を受けた。販売高は4億円を超えたものの、資材価格の高騰等が負担となって希望する収入につながっていない状況がある。打開策として様々乗り越えなければならぬ課題点はあるが、島根県西部農林水産振興センター・益田市農林水産課など関係機関の協力をいただき、引き続きより良質なメロンの生産に向けて努力していきたい」と話しました。

優績生産者二人から今年産を振り返って、新たな課題点や工夫した点などについて発表があり、熱心な意見交換を行うなど次年度の栽培に向けて有効な出荷反省会となりました。

令和6年産益田メロンの実績は、アムス2億4,242万円、夏作アールス6,381万円、秋作アールス1億604万円でした。



大場部会長  
挨拶



田村本部長  
挨拶



夏作の優績者 澁谷記幸さん（中央）  
秋作の優績者 松本貴之さん（右）



# まちむらネットワーク



つき上がった餅は皆で丸め、餡子やきな粉、醤油の味付けをして全員で食べました。



袋を手に青年クラブのメンバーが撒く餅をめがけて突進



最後は全員で記念撮影。津和野町農業青年クラブと町内の園児たちの、一年を通じた今年度の「わんぱくランド」農業体験が終了しました。

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）は12月12日、津和野町民体育館で同町内の保育園の園児や保育士、園児の保護者など50人が参加して、恒例となったつわのわんぱくランドの餅つきを行いました。

この日は園児たちが田植えや収穫の体験を行った農事組合法人なかばら（米原孝男代表）の圃場で収穫されたモチ米を使用し、女性部の協力で事前に蒸しあげた4升のモチ米を、園児全員が2回に分けて順番についていきました。



園児たちは2グループに分かれ、青年クラブのメンバーに支えられながら全員が楽しく餅つきをしました。



つき手を応援する園児たちの「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声が館内に響き渡りました。

## つわのわんぱくランド 食育の総仕上げ「餅つき」

JAしまね西いわみ地区本部は12月13日、窓口に来店いただいた方へ日頃の感謝を伝える「来店感謝デー」を実施しました。

各支店の職員がこの日のためにアイデアを凝らしたプレゼントを準備し、来店された方へ感謝の気持ちを伝えました。

来店者は思いがけないプレゼントに驚きながら「ありがとう」と喜んで受け取っていました。



西益田支店



益田東支店



益田中央支店



津和野支店



六日市支店



日原支店

## JAしまね西いわみ地区本部来店感謝デー



## 西いわみ女性部津和野支部視察研修



赤間醸造店内

JAしまね西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は12月3日、会員20人が参加して視察研修会を実施しました。

12月としては比較的暖かな午前8時、津和野温泉なごみの里を中型バスで出発、一路視察先である山口県下関市武久町にある赤間醸造株式会社を目指しました。

目的地に着いた一行は店内の商品等を見学した後、様々な用途によって工程が変わる醤油の製造について説明を受けました。昼食は下関市豊浦町の郷土料理元祖「瓦そば」、熱した瓦に乗ったポリウレムのある茶そばを堪能しつつ会話も弾みました。帰路に立ち寄った道の駅では、皆さんの足は産直コーナーに向かい、地元の商品揃えと比較したり出品物を手に取り買い求めていました。



年の瀬を迎え慌ただしくなる時期を前に、エネルギーの補充ができた一日でした。

## JAしまね西いわみ女性部西益田支部の活動を紹介します

JAしまね西いわみ女性部西益田支部（山本喜久子支部長）は12月22日、益田市立横田中学校を会場に、益田商工会議所西益田支部青年部創立40周年を記念して開催された「西益田ウインターカーニバル」に参加出店しました。

この日、同中学校体育館内では地元小中学校の各吹奏楽部・益田養護学校高等学校音楽部の発表などが行われ、体育館周辺に設けられた12のブースでは、様々なグループや専門店などが出店し来場者を歓迎しました。

当日はあいにくの雨模様、それでも地元をはじめ多くの方が訪れ、来場者は体育館内の催物の合間に、屋外食品ブースで買い物をするなど賑わっていました。女性部のテントにはJAしまね西益田支部の大石誠支店長の姿もあり、部員の皆さんが持ち寄った野菜や米を材料に、朝から皆で仕込んだ豚汁とむすびを販売しました。



冷たい雨が降る寒い日の開催で、暖かい豚汁販売は来場者にも喜んでいただきました。



松田美穂子さんの実家「大庭農園」で芋掘りを行いました。（10月20日）



12月29日には青木みや子さん製造のこのお手本を基に、皆で三門松づくりに挑戦しました。山本支部長は「今後も様々な企画に幅広く参加を呼び掛け、支部会員の拡大に努めていきたい」と話します。





## 令和5年産島根米の精算結果について

JAしまねでは、生産者の皆様から出荷いただいた「令和5年産島根米」を以下の考え方によって、買取手法を取り入れた会計管理を行っています。

1. 集荷数量が確定する6月末までに販売した残数をJAが時価相当額で買い取る。
2. 出荷時の「仮単価」と上記1をもって精算を約1年に短縮する。
3. 販売代金・経費の情報開示による透明性の確保と端額を除き全額精算する。

つきましては、6月末までの販売分について会計管理（共同計算方式）を行った結果、精算可能財源が確保されましたので、以下のとおり最終精算金をお支払いするとともに、精算概要についてご案内申し上げます。

(税込)

収入・支出項目		単位	合計
販売数量		トン	2,288.79
収入	販売代金	円/60kg	12,942
	その他	//	81
	合計 A	//	14,342
支出	仮単価・追加金支払	//	12,342
	流通・保管等に係わる経費	//	543
	事故処理経費	//	0
	手数料	//	15
	生産・集荷・販売等に係る経費	//	86
	需給調整経費	//	0
	監査委員会費用	//	1
	その他	//	67
合計 B		//	13,054
収入-支出 C=A-B		//	1,288
都度精算 D		//	780
共計事業預り金残高 E=C-D		//	508
翌年産共計繰越 F		//	15
最終精算金 G=E-F		//	493

※四捨五入のため、内訳と合計が合わない場合があります。

○最終精算振込日 令和6年12月5日

# 西いわみ農業青色申告会加入募集

青色申告を基礎とした税務、経理及び経営の研究を行うと共に、農業経営の合理化と健全な発展に寄与することを目的とする、「西いわみ農業青色申告会」へ加入しませんか？



●年会費：3,000円

●主な活動内容

☆税務研修会の開催

☆青色申告に関する情報提供

●お問い合わせ

JAしまね西いわみ地区本部

営農経済部 営農企画課

TEL：0856-23-1911



# 期限切れ廃棄農薬回収のご案内

**回収実施日** 令和7年**2月4日(火)**

**回収時間** 午前**9:00~11:00**

**●回収対象農薬**

- 毒・劇物・一般物  
粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- くん蒸剤・くん煙剤
- 空びん・空容器等



**●回収指定場所**

益田市	J A 営農センター
	J A 美都事業所
	J A 匹見事業所
津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木事業所
	J A 六日市支店

※委任状を書いておりますので、必ず印鑑をご用意ください。

処理経費は1kgあたり440円(税込)の予定です。  
回収日の回収時間以外は引き取りは致しません。

お問い合わせ先 / JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 0856-23-0933

## 期限切れ廃棄農薬の分別方法

毒・劇物・一般物  
・粉剤・粒剤・水和剤

毒・劇物・一般物  
・液剤

くん蒸剤  
くん煙剤

不明物

**空容器**

- ・プラスチック容器
- ・ガラス空ビン
- ・くん蒸・煙空缶
- ・ポリ缶
- ・ブリキー斗缶

必ず上記のように分別して、それぞれダンボール箱に入れてください。ダンボール箱には、分別名と氏名を記入してください。

## 産業廃棄物を運搬する車両の表示及び書面の備え付け(携帯)が必要です。

**次の事項を記載した書類**

- ・氏名又は名称及び住所
- ・運搬する産業廃棄物の種類、数量
- ・運搬する産業廃棄物を積載した日
- ・積載した事業場の名称、所在地、連絡先
- ・運搬先の事業場の名称、所在地、連絡先

詳しくは、環境省のホームページをご覧ください。

※各経済店舗にて表示用マグネットシールを販売しています。



## 税 益田税務署からのお知らせ

確定申告会場設置期間は**2月17日(月)から3月17日(月)まで**

※2月10日(月)~2月14日(金)は当日の入場整理券を配付し、還付申告の相談等を受付けます。

申告会場の受付時間は午前8時30分から午後4時までです

土曜・日曜・祝日の執務は行っておりません

申告と納税は期限内に!

所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納税は**3月17日(月)まで**

個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は**3月31日(月)まで**

便利な振替納税をご利用ください

【令和6年分の振替日】

【所得税及び復興特別所得税】  
**4月23日(水)**

【消費税及び地方消費税(個人事業者)】  
**4月30日(水)**

# 書かない 確定申告

スマホとマイナンバー  
カードで確定申告



国税庁ホームページ

「確定申告書等作成コーナー」

なら金額等を入力するだけで

自動計算で申告書が完成!

申告書の作成は  
こちらから



作成できる申告書

- ・所得税の申告書
- ・青色申告決算書
- ・収支内訳書
- ・消費税の申告書
- ・贈与税の申告書

マイナポータル連携でさらに便利!

詳細はこちらから



控除証明書等のデータが自動入力できる♪

確定申告書の作成時間が短縮!

医療費やふるさと納税の

データが自動で連携されて楽!

納付はキャッシュレス納付が便利です!

自宅やオフィスから納付可能!  
PC やスマホで簡単手続き! 現金管理の効率化!

振替納税

ダイレクト納付

インターネット  
バンキング等

クレジット  
カード納付

スマホアプリ納付

※税務署の確定申告会場で不動産の売却や贈与税の申告相談を希望される方は、3月3日から3月17日までにお越しください。

詳しい情報は国税庁ホームページへ **国税庁** で **検索**

問い合わせ先 / 益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)



# メガネ・補聴器の専門店



PARIS MIKI

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書用、パソコン用、遠近両用でも

## メガネ一式

# ¥13,200~

税込

『移動型店舗  
パリミキカー』



お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 へ お気軽にどうぞ

## 令和7年 2月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

3日(月)	9時~12時	西益田支店	17日(月)	9時~13時	日原経済C
	13時~16時	益田中央支店		18日(火)	9時半~13時
4日(火)	9時~12時	中西事業所	19日(水)		9時半~13時
	13時~16時	益田グリーンセンター		21日(金)	10時~15時
6日(木)	9時半~13時	津和野経済C	28日(金)		10時~15時
7日(金)	10時~13時	六日市経済C			

# 読者の俳句川柳

お題 「福袋」

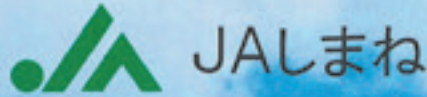
3月のお題は「春一番」です  
ご応募お待ちしております

※締切※  
令和7年  
2/15  
(当日消印有効)

- 福袋 買って今年の 安寧を (益田市 加藤 富之さん)
- 子どもらの 楽しみひとつ 福袋 (益田市 野村 芳子さん)
- 福袋 孫にもらって シワが増え (益田市 岡崎 雄一さん)
- 福袋 得した気分の お正月 (益田市 佐々木いさ子さん)
- 通販で 早目の注文 福袋 (益田市 柳井 文江さん)
- サプライズ 開けないうちの 福袋 (益田市 村上登美子さん)
- 幸せを 皆にくばる 福袋 (益田市 喜村 信江さん)
- 想像し 胸ワクワクと ゆめを買う (益田市 加治イトヨさん)
- 福ぶくろ 幼なき想いで はるかなり (益田市 澁谷美保子さん)
- 福袋 億万券の 夢で覚め (益田市 田中千代子さん)
- 兄弟で 福袋ねだり 母困る (益田市 小笠原かよみさん)
- 福袋 今年がいいのが 入ってるかな (益田市 両見かすみさん)
- 正月の 楽しみのひとつ 福袋 (益田市 宅野ミツ代さん)
- 物価高 見て楽しむ 福袋 (益田市 初山 敏子さん)
- 孫二人 神様からの 福袋 (益田市 齋藤 照平さん)
- 運だめし 買ってみようか 福袋 (益田市 竹田 和夫さん)
- 福袋 心うきうき 帰り道 (津和野町 大井 守さん)
- お年玉 今年ひ孫に 福ぶくろ (津和野町 日熊 春子さん)
- 福袋 見えない福も 入ってるか? (津和野町 岸田 英子さん)
- 福袋 買ってよかった 金いっぱい (津和野町 豊田 往野さん)
- 福袋 入っている物 福を呼ぶ (津和野町 藤井 礼子さん)
- 期待して 期待はずれの 福袋 (津和野町 斎藤 久衛さん)
- 賀正祝う 七福神の 福袋 (津和野町 古山 包子さん)
- 福袋 買って今年の 運だめし (津和野町 桑原八恵子さん)
- 福引で 最後の一枚 特賞に (津和野町 中野 健二さん)
- 年波に 行くに行けない 福袋 (吉賀町 田村 氏子さん)
- 福袋 中み見えずも 選って買う (吉賀町 新藤 明美さん)
- 福袋 もらって嬉し 老いの春 (吉賀町 中村恵己子さん)

応募方法

●葉書に 俳句か川柳かを明記してください。 住所、氏名、電話番号をご記入ください。  
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課



参加  
無料

# 農業資金説明会 & 個別相談会

## 対象者

農業者、集落営農組合、農業生産法人等

## 開催日時、場所【益田市会場】

令和7年1月30日（木）  
14：00～15：30 資金説明会  
15：30～16：00 個別相談会  
西いわみ地区本部3階会議室

## 開催日時、場所【津和野町会場】

令和7年1月31日（金）  
10：00～11：30 資金説明会  
11：30～12：00 個別相談会  
津和野支店経済センター2階会議室

## 開催日時、場所【吉賀町会場】

令和7年1月31日（金）  
14：00～15：30 資金説明会  
15：30～16：00 個別相談会  
六日市支店2階会議室

## こんなお悩みありませんか？

- ・資金の種類がありすぎて、どの資金がいいのかわからない・・・
- ・機械の更新をしたいけど、低利な資金は無いかなあ・・・
- ・事業の拡大をしたいけど、運転資金が不足しそうだなあ・・・

**資金の種類、特性、仕組み等を分かり易くご説明致します！**

資金説明会、個別相談会を開催致します。参加希望の方はご連絡をお願い致します。

連絡先：西いわみ地区本部統括支店 ローンセンター

(0856-22-1590) または、お近くの支店まで

※ 説明会・相談会で取り扱ったお客様に関する情報は他の目的への使用を厳禁とし、本説明会・相談会の関連団体以外には一切提供いたしません

## 島根県西部農林水産振興センターからのお知らせ

# パイプハウス雪害対策



今年も雪が降る季節になりました。パイプハウス等の施設については、島根県内でも毎年のように積雪による被害が発生しています。

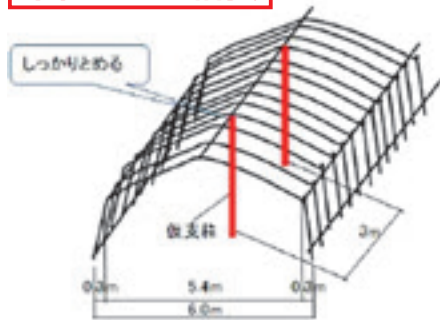
気象庁が発表した12月～2月の西日本日本海側の降雪量は、冬型の気圧配置が強まる時期があるため平年並みか多い見込みとなっています。また、温暖化のため、降雪量自体は減少していますが、一度に1m以上積もる「ドカ雪」は増える傾向です。被害をできるだけ抑えるための対策をしましょう。

## 降雪前のチェックリスト

- 最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか。
- 暖房機の燃油残量は十分にありますか。
- 暖房機は正常に作動するか確認しましたか。
- ブレースや筋交いの留め具に緩みがないか点検しましたか。
- 基礎部、接続部分、谷の樋・柱に腐食・サビはありませんか。
- 谷の樋や排水路、ハウスの際などのゴミを取り除きましたか。
- 中柱をたてるなど応急的な補強の準備はしましたか。
- 作物を栽培していないハウスは被覆資材を外しましたか。
- 被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物はありませんか。
- 雪の滑落を妨げる暴風ネットや外部遮光資材等が展張されていませんか。



### 中柱による補強 (3m間隔に設置すると耐力が25kg/m<sup>2</sup>向上)



支柱の根元は、沈み込まないように、ブロック等を置くと良い



※古いハウスほど間隔は狭くする

他にも「タイバーによる補強」・「根がらみによる補強」などがあります。

### 作業時注意事項

1. ヘルメットを被る、滑りにくい靴を履くなど、十分な装備を整えて作業しましょう。
2. 降雪時の見回りや除雪作業は安全のため複数人でいきましょう。
3. 積雪により倒壊する恐れのある施設には、近づかないようにしましょう。

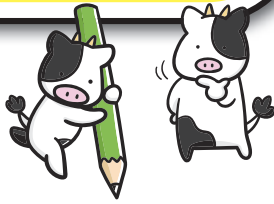
(参考元：農林水産省HP「豪雪対策に向けた具体的取り組み」)

# クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

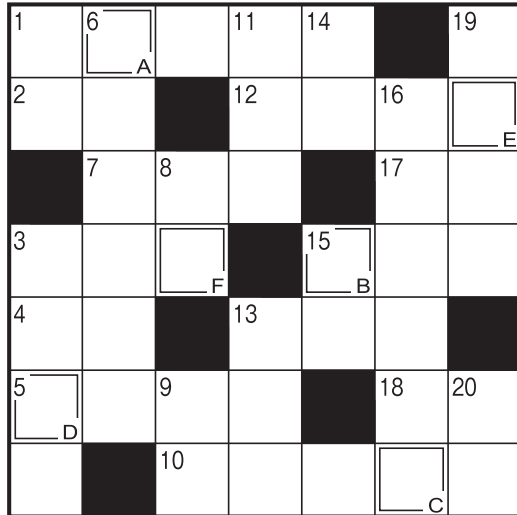
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2025年1月号

## CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA~Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

### タテのカギ

- ①教育・勤労・納税は国民の三大——です
- ③気仙沼の名物、サメの加工品
- ⑥さいころや角砂糖はこの形
- ⑧封書を数えるときに使う言葉
- ⑨キラキラ光る——入りのセーター
- ⑪風を受けて水上を進みます
- ⑬地銀よりも規模が大きめ
- ⑭といて炊きます
- ⑮水で洗い物をするとかじかむことも
- ⑯多くが九州で作られている酒
- ⑰こ、これぐらい平気だい!
- ⑰チョコキがはさみならパーは

### ヨコのカギ

- ①2月14日に職場などで配る人もいます
- ②リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- ③天気が崩れて——が強まった
- ④寒い日にはこりやすくなる人も
- ⑤節分にイワシの頭を刺して飾ります
- ⑦紅茶の茶葉とお湯を入れます
- ⑩熱心に後輩を指導する、——のよい先輩
- ⑫看護師——ともいうナースステーション
- ⑬和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた——があります
- ⑮不利の反対語
- ⑰古代インド発祥のエクササイズ
- ⑱じゅうたんを敷く所

### 応募要項

#### ● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



#### ● 賞品

正解者の中から抽選で30名(JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

#### ● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

#### ● 宛先・締切

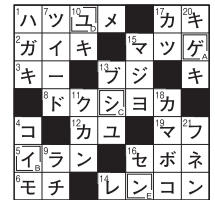
〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係  
2025年2月7日(金)(当日消印有効)

・先月号は、西いわみ地区本部管内で49人の方からご応募いただきました。

#### ◆ 先月号の答え ◆

#### 「ゲイシユン」



# 俳句の広場

## 最優秀賞

漕ぎ寄せて水を掛け合ふ冬の海

出雲市 森脇 英徳様

選句者「白魚火」編集長・副主宰  
安食彰彦先生

## 優秀賞

君帰り轍が残る雪の道

江津市 渡津かずお様

神集ふ社へ車椅子押して

浜田市 沖田 邦子様

着ぶくれて昭和の歌を歌ひけり

浜田市 小川美砂子様

## 佳作

コロナ禍を乗り越え牡丹供養かな  
松江市 加茂 京子様  
烟酒の加減は妻に如くはなし  
出雲市 藤江 堯様  
鈴虫の鳴く声聞きつ歌を詠む  
出雲市 西島 秀正様  
畑仕事はや山の端に冬の月  
出雲市 山塚 豊子様  
お降りや自著出版のゲラ来たる  
津和野町 田中とよし様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください!

「家の光」2月号 定価629円  
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

#### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

#### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
J Aしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
F A X : 0852-67-7708  
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



家計の負担を抑えたい方必見! JA共済

JAの自動車共済にすると

島根県で約140,000台=約4台に1台が

選ばれてます!! JAの自動車共済です!!

令和6年11月末時点 JAしまね調べ

えっ!こんなに安くなるの!?

JAの自動車共済ならこの保障内容で

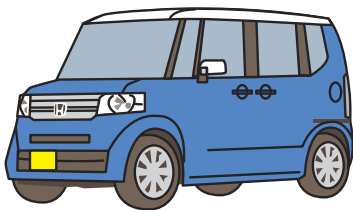
“えっこんなに安くなるの”と驚きのご提案ができるかも!?

※車種等によっては共済掛金が安くない場合もございます。

掛金例

ホンダ N-BOX

自家用軽乗用車  
型式:JF4



車両保障  
200万円  
の場合

車両保障なし

月払 1,570円 一時払 17,550円

車両保障あり

全損害担保 月払 3,260円 一時払 36,480円

(保障内容・ご契約例) 個人契約/共済期間:12か月/等級:20等級(事故有係数適用期間0年)/運転者年齢条件:35歳以上限定保障/記名被共済者年齢階層別掛金区分:40~49歳/車両保障:有(車両共済金額別掲)/免責金額5万円/対人賠償:無制限/対物賠償:無制限(対物超過修理費用保障付)/免責金額0円/人身傷害保障:3,000万円(被共済者限定特別:有)/傷害定額給付保障:1,000万円(標準型:被共済者限定特別:有)/レッカーロード費用保障条項:有/弁護士費用保障特約:有/長期優良契約割引:有(適用1年目)/ゴールド免許用掛金/自動継続割引:有/自賠責共済セット割引:有/新車割引:有(初年度登録:令和6年6月)/※各種割引の適用には一定の条件があります。※令和7年1月時点の共済掛金です。

お見積り依頼、お問合せはこちらから

お見積りは簡単!しかもJAなので任せて安心です!



お問合せ先

お近くの支店・共済担当職員まで  
お気軽にお問い合わせください!

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 24320320167



JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JAしまね×洋服の青山・はるやま

店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!



ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

〈洋服の青山〉松江店・島根斐川店・出雲浜山通店・浜田店・米子本店・三次店

〈はるやま〉松江店・島根三刀屋店・出雲店・島根大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会(入会無料)が必要となります。



お問合せ / 本店経済課

TEL : 0853-25-8912



## 白菜とエビのあったかとりと炒め



### コメント

- ・とろみがついているので冷めにくく、栄養バランスも良く寒い日におすすめの一品です！
- ・白菜の芯と葉を時間差で加えることで、均一に火が通り、同じ食感に仕上がります。

### アレンジ

- ・ご飯にかけて丼に、麺にかけてあんかけ麺も楽しめます。
- ・海老をホタテ、鶏肉、豚肉、ハム、ウインナー、ベーコンなどに替えても美味しいです。
- ・うずら卵の代わりに溶き卵でも美味しくできます。

### 材料 (4人分)

- 【材料】
- 白菜…………… 4枚 (300g)
  - にんじん… 1/3本 (50g)
  - むき海老…………… 200g
  - にんにく……………ひとかけ
  - 生姜……………ひとかけ
  - うずら卵…………… 8個
  - ごま油……………大さじ1
  - 鶏ガラスープの素…小さじ2
  - 塩……………ふたつまみ
  - 薄口醤油……………小さじ1
  - 水…………… 200cc
  - 片栗粉……………大さじ2
  - 水……………大さじ2
  - 粗びき黒こしょう…適量

### 作り方

- ①白菜は芯の部分は細せん切りに、葉の部分は1cm幅に切る。にんじんは長さ3cmのうす短冊切りにする。むき海老は背ワタを取り、汚れを洗い流してから水気をきる。にんにくと生姜はみじん切りにする。うずら卵は茹でて殻をむく。
- ②フライパンにごま油とにんにく、生姜を入れて弱火で炒め、香りが出たら白菜の芯の部分とにんじんを加えて炒める。
- ③芯の部分がしんなりしたら白菜の葉を加えて炒める。
- ④むき海老を加えて軽く炒めたら、Aとうずら卵も加えて蓋をして4～5分中火で加熱する。
- ⑤一度火を止め、Bの水溶き片栗粉を加えて加熱し、とろみをつける。
- ⑥皿に盛り、粗びき黒こしょうを振る。

### 材料 (4人分)

- 合挽肉…………… 300g
- 塩こしょう…………… 3振り
- 麩…………… 20g
- 卵…………… 1個
- サラダ油……………大さじ1
- 中濃ソース……………大さじ2
- ケチャップ……………大さじ4
- 赤ワイン……………大さじ4
- たまねぎ…………… 1個
- ブロッコリー…………… 1/2株
- プチトマト…………… 4個

### 作り方

- ①たまねぎは1cm角に切る。プチトマトはヘタを切り落とし、半分に切る。
- ②ブロッコリーは小房に切り分け、さつとゆでて水切りする。
- ③ボウルにAを入れて粘り気が出るまで手早く混ぜる。
- ④②に小さく砕いた麩と卵を加え、皿に混ぜる。
- ⑤フライパンに油をひき、たまねぎとブロッコリーを炒め火が通ったら取り出す。
- ⑥⑤のフライパンに油をひき④の肉をフライパン全体に広げ、中火で焼く。焼き色が着いたら、一口大にして、裏返していく。
- ⑦木べらで押さえるようにして焼き、混ぜ合わせたBを加え、ひと煮立ちさせる。
- ⑧たまねぎとブロッコリーを戻し入れ、軽く炒め合わせる。
- ⑨皿に⑧を盛り、プチトマトを添える。

### コメント

- ・木べらで押さえながら焼くので、短時間で仕上がります。
- ・調味料を混ぜてかけるだけ、簡単肉肉しいハンバーグです。

## 丸めないハンバーグ



### アレンジ

- ・残った丸めないハンバーグは、スパゲッティミートソースにしたり、チーズをかけて焼いたりすればグラタン風に早変わり！
- ・ブロッコリーの代わりに太ねぎ、にんじん、カリフラワー、じゃがいもなどいろいろな野菜との組み合わせが楽しめます。

## JA島根厚生連

### 健康散歩

## そのしびれや痛み、腰部脊柱管狭窄症かも？

不快な自覚症状のなかで、男女ともに訴える人がもっとも多いのが「腰痛」です。現在では10人に1人が悩まされている国民病です。その腰痛をおこす病気の一つに「腰部脊柱管狭窄症」があります。脊髄の神経の通る管が狭くなって、しびれや痛みがでる病気です。この病気は50歳以上から徐々に増え、70歳以上では約半数が該当しているといわれています。



### ～腰部脊柱管狭窄症 症状チェック～

- ①太ももからふくらはぎやすねにかけてしびれや痛みがある
  - ②しびれや痛みはしばらく歩くと強くなり休むと楽になる
  - ③しばらく立っているだけでしびれたり痛くなったりする
  - ④前かがみになるとしびれや痛みは楽になる
- 当てはまる項目が多い人は、腰部脊柱管狭窄症の可能性が高いです。

この病気の治療法は、「保存療法」と「手術療法」があります。まず保存療法（ストレッチや背筋を鍛える等の適度な運動、血流改善薬・鎮痛剤・ビタミン剤など内服薬の服用、局所麻酔薬・ステロイドなどのブロック注射）を行い、その効果があまりない場合にのみ手術が行われます。

「腰部脊柱管狭窄症」は加齢によって誰にでもおこる病気です。初期は症状が出てはすぐに治まることが多く、病院受診をためらう方が少なくありません。しかし、そのままにしておくと徐々に症状が進行し、痛みやしびれの症状が現れる頻度が高くなり、運動障害が悪化するとともに残尿感や失禁などの排尿障害を引き起こすなど日常生活に支障をきたすこととなります。初期の状態では病院受診し対処すれば、ほとんどの人は手術ではなく、保存療法で改善することができます。「寝ていれば治る」と安易に考えず、気になる症状があれば早めに整形外科を受診し、必要な治療に向き合っていくことが大切です。

